

# 中学部 美術科 「仲間とつくる造形遊び～身近なものを使って～」

美術が楽しい。  
もっと自由に表現したい。  
好きな色を使いたい。

絵の具の色や量の選択肢を増やして  
表現の自由度を広げたい。  
夢中になって活動できる環境をつくりたい。

## ①「手足やカリンの実で描こう」

- ・いろいろな色の絵の具から好きに選べるように準備しました。
- ・手足についての絵の具がすぐに洗えるようにタライや雑巾を準備しました。

### おすすめポイント

大きな紙を用意し、みんなで同じ紙に描くことにしました。そのことによって、友達の描く様子を見て自分の表現に生かしたり、カリンの実を友達と転がし合ったりと友達を意識する場面が増えていきました。



### 子どもの反応

“手足で描きたい”  
以前は苦手だった絵の具のヌルっとした感触が好きになりました。

### 子どもの反応

足の裏に絵の具がつくことを嫌がっていたAさん。「スリッパ借りてもいいですか？」スリッパを借りると、活動へ気持ちに向け、手形をつけて描くことができました。また、カリンの実を優しく転がし、お湯で丁寧に洗うなど大切に扱う姿へとつながりました。



## ②「カリンの実や笹の葉で描こう」

- ・描くための道具で、通常美術では使わないカリンの実や笹の葉を用いました。
- ・同じ道具でも生徒によって描き方が違い、多様な表現を認め合う雰囲気大切にしました。



### 子どもの反応

半分に切ったカリンの実はスタンプに使えて楽しい！  
いろいろな色で仕上げたい！

### 子どもの反応

笹の葉を回転させて円を描く生徒、ホウキのように動かす生徒など各々が工夫して描く姿が見られました。

### おすすめポイント

理科で校内の秋探しをした時に拾ったカリンの実や笹の葉を使って道具にすることで、自然物に興味を持つとともに、様々な物が美術に使えることに気づくきっかけになりました。

